2026 年 11 月 11 日
一般社団法人日本損害保険協会　中部・北陸支部

「三重県誕生 150 周年記念防災イベント」にブース出展

～三重県損害保険代理業協会とともに家具固定や災害への備えを呼びかけ～

日本損害保険協会三重損保会（会長：神村 晋介、損害保険ジャパン株式会社三重支店長）は、11 月 8 日（日）に四日市港で開催された三重県誕生 150 周年記念防災イベントに三重県損害保険代理業協会とともにブース出展しました。当日は、展示ブース等による防災啓発のほか、海上保安庁巡視船「みずほ」の体験航海や海上自衛隊護衛艦「ながら」の一般公開、三重県総合防災訓練も行われ、多くの来場者で賑わいました。

当協会のブースでは、来場者に対して、名古屋大学の福和伸夫名誉教授監修の「減災絵巻」を用いて地震発生時に山・都市・海沿いにある家がどのような危険に直面しどのような備えが必要となるか、また火災保険や地震保険で補償される内容について説明しました。子ども向けの防災クイズも実施し、家具固定の重要性を説明する等、200 名以上の来場者に災害への備えを呼びかけました。

来場者からは、「子ども部屋の家具固定はしっかり行いたい。」「地震による火事など、原因によって火災保険の補償可否が変わるのは初めて知った。保険を見直したい。」といったコメントがありました。

また、ステージモニターでは各団体が活動紹介動画等を放映し、当協会も「ぼうさい探検隊（※）」や「水災への備え」に関する動画を放映しました。

当支部では、今後も防災・減災および損害保険の普及促進・啓発に取り組み、地域の安心・安全に資する活動やイベントを支援してまいります。

※ぼうさい探検隊とは

子どもたちが楽しみながらまちにある防災・防犯・交通安全に関する施設や設備などを見て回り、身の回りの安全・安心を考えながらマップにまとめ発表する、実践的な安全教育プログラム。2004 年度から「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」を開催し、今回で 23 回目。自治体や行政等への提言により実際に危険箇所が改善された事例もあり、地域安全力向上の一助になっている。



ブースの様子



子ども防災マスターのシールを贈呈



減災絵巻を見る来場者



ステージモニターで「ぼうさい探検隊」を放映



ステージモニターで「水災への備え」を放映